

ミシシippiaカミミガメ防除調査

中間報告

平成25年9月6日(金)

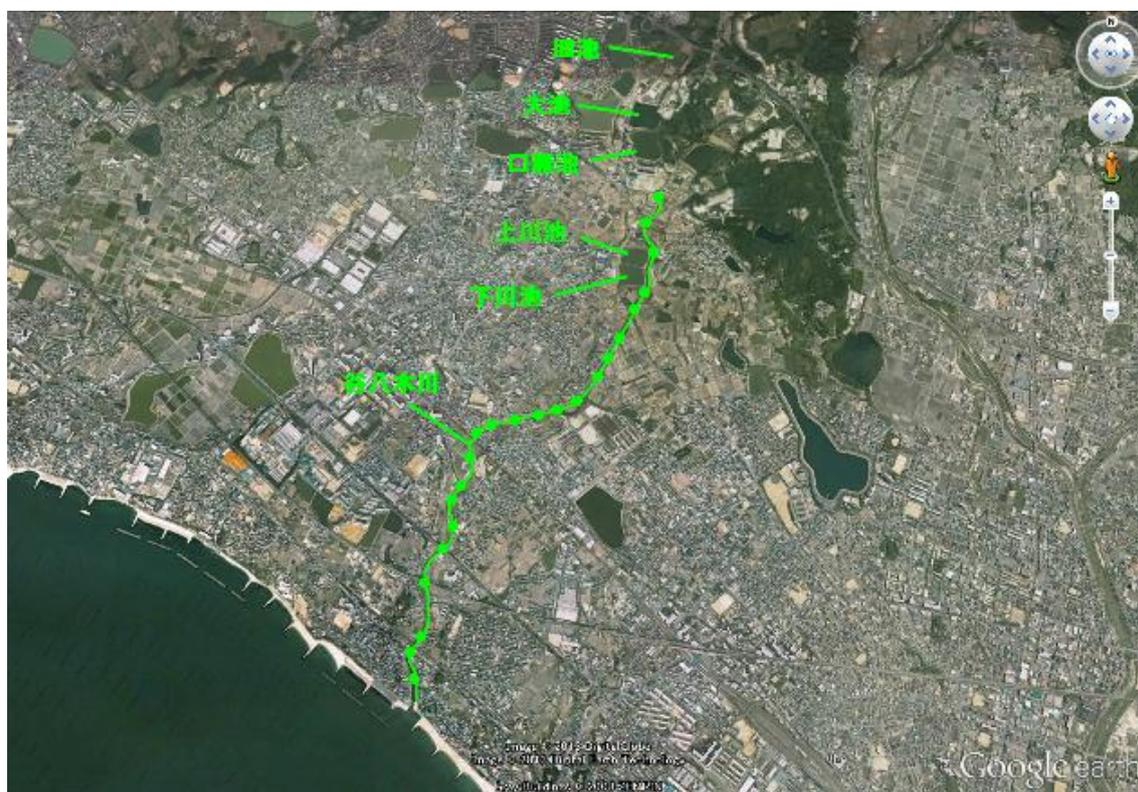
■調査目的 外来種ミシシippアカミガメが多く生息していることが知られている谷八木川及び谷八木川流域ため池5箇所において、本種の防除を実施し、それが可能かどうかを検証するもの。

■調査担当 特定非営利活動法人 日本ウミガメ協議会

■調査期間 平成 25 年 5 月～9 月

1. 事前調査 5 月 9 日・10 日
2. ミシシippアカミガメ防除調査 5 月 14～16 日、27 日、6 月 4～13 日
3. 効果確認調査 7 月 10 日・24 日、8 月 9 日・23 日、9 月 9 日・27 日

■調査場所 2 級河川谷八木川水系谷八木川全域、及び谷八木川流域ため池 5 箇所



※●が 23 か所の各地点

■調査方法

谷八木川 23 地点および谷八木川流域ため池 5 箇所に一斉に3～5個のカメ捕獲用の網を用い、調査日の9時～12 時に順次設置し、同日 14 時～18 時に順次回収。事前調査ではアカミガメの目視調査及びおさかなキラーによる他生物(主に魚類)調査も実施。捕獲したカメは、種を判別し、個体数・性別・サイズを確認・記録。

■捕獲個体 確認・記録後、「ミシシッピアカミミガメ」については神戸市立須磨海浜水族園内の淡水ガメ保護研究施設「亀楽園」に収容。他の種については、捕獲した元の場所に戻す。

■平成 25 年度ミシシッピアカミミガメ防除調査

中間報告<平成 25 年 5 月 14 日～8 月 23 日 合計 19 日間>

1. 事前調査

目視調査では、アカミミガメ 639 匹、クサガメ 20 匹を確認した。また多くのアカミミガメが甲羅干しする地点が多数存在した(写真参照)。その他の生物としてはエビ類、ヨシノボリ、メダカ、タニシ、ブルーギル、ドジョウ、モツゴ、コイが確認された。

2. ミシシッピアカミミガメ防除調査

合計 19 日間の防除調査で、合計 4291 匹(延べ数)捕獲した。調査日ごとの捕獲数と設置した網数の内訳を以下の表に示す。調査ごとにアカミミガメの捕獲数は減少している。

	調査日	アカミミガメ 匹数	クサガメ 匹数(延べ数)	スッポン 匹数(延べ数)	イシガメ 匹数	その他 匹数	合計	網数
	5月14日	361	268	13	2	1	645	118
	5月15日	372	170	6	3	0	551	118
	5月16日	151	83	0	4	1	239	118
	5月26日	166	221	1	1	2	391	117
	5月27日	161	163	1	3	1	329	117
	6月4日	66	142	2	2	0	212	107
防 除 調 査	6月5日	55	92	0	1	0	148	68
	6月6日	72	86	3	2	0	163	68
	6月7日	68	97	0	0	0	165	68
	6月8日	49	94	0	0	0	143	35
	6月9日	27	43	0	0	0	70	35
	6月10日	28	34	0	1	0	63	35
	6月11日	27	27	1	0	0	55	35
	6月12日	16	14	0	0	0	30	35
	6月13日	15	28	0	0	0	43	35
	効 果 確 認 調 査	7月10日	57	273	7	1	0	338
7月24日		61	244	3	0	0	308	112
8月9日		66	216	1	0	0	283	110
8月23日		27	92	3	0	0	122	63
	延べ捕獲数	1845	2387	41	20	5	4298	
	捕獲実数	1845	1268	30	20	5	3168	1506
	割合	58.2%	40.0%	0.9%	0.6%	0.2%		

※その他はカミツキガメ、雑種



大久保町谷八木 250号線下
防除前 2013年5月9日



防除後 2013年7月10日



大久保町松陰付近
防除前 2013年5月9日



防除後 2013年7月10日